



編集発行人

鹿児島大学医学部附属保健婦学校
鹿児島大学医療技術短期大学部専攻科地域看護学特別専攻
鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻
同窓会(しおさい会)

事務局

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
鹿児島大学医学部保健学科
地域看護・看護情報学講座内
連絡先 会長 徳永 龍子
電話 [REDACTED]



とお喜び申し上げます。
昨年八月五日、第十九回しおさい会総会が台風接近の中、県内外から多数の会員の参集を得て無事開催されました。議事が審議され、研修は会員投稿の俳句に講師の解説付き、笑い溢れる内容に沸きました。懇親会は毎回楽しみの還暦組の出し物など、学生から九十歳代まで交流し楽しみました。

役員の方々には御多忙な本務の傍ら、同窓会運営を熱意と誠意をもつて担つていただき心から感謝申し上げます。総会で私を含め役員七人が交替し、会の趣旨と歴史を引き継ぎました。会員の皆さま方の御支援も頂きながら会務に精進してまいりますので、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

本校は昭和十八年四月、鹿児島県立保健婦養成所として創設され、本年で七十五周年を迎えます。本県における保健婦養成は「僻地性に富み、離島が多い本県の特殊事情は、保健衛生こそ県政の重点課題」との認識の



ごあいさつ

会長
徳永龍子
(S45年卒)

あけましておめでとうございます。皆さまには、お健やかに新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

昨年八月五日、第十九回しおさい会総会が台風接近の中、県内外から多数の会員の参集を得て無事開催されました。議事が審議され、研修は会員投稿の俳句に講師の解説付き、笑い溢れる内容に沸きました。懇親会は毎回楽しみの還暦組の出し物などを、学生から九十歳代まで交流し楽しみました。

役員の方々には御多忙な本務の傍ら、同窓会運営を熱意と誠意をもつて担つていただき心から感謝申し上げます。総会で私を含め役員七人が交替し、会の趣旨と歴史を引き継ぎました。会員の皆さま方の御支援も頂きながら会務に精進してまいりますので、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

懇親会をお楽しみください。

記念講演は、日本看護協会常任理事の中板育美先生にこれまでの保健婦教育や活動に加え、現在、これから保健師活動を展望いただきたいと計画中です。来年は年号も改まります。厚生労働省等の省庁再編と介護保険開始で始まった二十一世紀。次は、どんな保健師活動の使命が来るのかワクワクします。

しおさい会が母校の使命達成の推進力となり、日本の人生百年時代の一翼を担えることを願つてごあいさつといたします。

平成三十年一月

もと県による企画で誕生しました。その後、全国でも異例の国立移管、医療技術短期大学、そして大学へと幾多の変遷を経て、今日まで発展してまいりました。本会は、昭和五十四年一月、「①会員の親睦と母校の使命達成の推進力となる②会員の教養を高め、専門的知識技術の向上に努め、もって社会福祉の貢献に資することを目的に設立されました。

今年五月十九日には、しおさい会セミナーを開催いたします。また、来年八月三日の総会は設立四十年、第二十回記念となります。皆さまお誘い合わせの上、ぜひ御参加いただき同窓生との懇親会をお楽しみください。

記念講演は、日本看護協会常任理事の中板育美先生にこれまでの保健婦教育や活動に加え、現在、これから保健師活動を展望いただきたいと計画中です。来年は年号も改まります。厚生労働省等の省庁再編と介護保険開始で始まった二十一世紀。次は、どんな保健師活動の使命が来るのかワクワクします。

しおさい会が母校の使命達成の推進力となり、日本の人生百年時代の一翼を担えることを願つてごあいさつといたします。

第19回 同窓会総会報告



平成二十九年八月五日（土）台風が接近する中、城山観光ホテルにて、第十九回総会を開催し、九十五名の参加がありました。議長には、昭和五十六年卒 松永絹子さんが選出され、会順に従い議事を進めました。

事業報告として、第七回「しおさい会セミナー」の開催や、長期（六年以上）会費未納会員への会報送付休止等の報告がありました。また事業計画の中のホームページ作成に関しては、現在の進捗状況が報告され、同窓会会員のみならず学生や地域住民など会員外を含めた閲覧・参加を実現しました。

懇親会では、お忙しい中、松下敏夫先生、鉢之原昌先生、児玉慎平先生の三名の先生方のご出席をいただきました。平成八年卒の中袴田洋絵さんと蒲地亜紀代さんの爽やかな司会のもと、保健学科五期生

たいという思いが伝えられ、セキュリティの強化、維持費の賄い方、ホームページの名称等、今後の課題について意見交換しました。さらに次回総会までに「しおさい会個人情報保護方針」等の見直しを行なうことが報告されました。

参加者からは会員の地域ボランティア活動に対する助成金新設についての提案も出され、今後の検討課題として協議がなされました。

総会に統いて研修会では、上迫和海先生より「俳句でめぐる鹿児島」のテーマでご講演いただき、三十年以上俳句に関わってきた先生ならではの、感性豊かな考え方などを知り、俳句を通して豊かな鹿児島を享受する大きさを学びました。また会員より寄せられた俳句への助言もいただきました。

懇親会では、お忙しい中、松下敏夫先生、鉢之原昌先生、児玉慎平先生の三名の先生方のご出席をいただきました。平成二十七年度

司会のもと、保健学科五期生と蒲地亜紀代さんの爽やかな司会のもと、保健学科五期生

<p>1 平成二十七・二十八年度報告</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 同窓会総会の開催 (2) 同窓会通信「しおさい三一・三二号」の発行 (3) 同窓会新入会員推進活動 	<p>1 平成二十九・三十年度計画</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 同窓会総会の開催 (2) 同窓会通信「しおさい」(平成二十九年八月) (3) 同窓会新入会員推進活動 	<p>(3) 会報発送数 平成二十八年 一〇二〇通 平成二十九年 七三〇通 決算報告（別紙参照）</p>
--	--	--



<p>2 廉務報告</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員 一三三四名 (2) 新規会員 平成二十九年六月三十日現在 	<p>2 その他の運営に関する会議</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 役員会 二十回開催 (2) クラス連絡委員会 二回開催 	<p>(1) 退任役員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会長</th> <th>藤野 順子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書記</td> <td>遠藤 留美</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>石野 友希</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>笠原 美紀</td> </tr> <tr> <td>書記</td> <td>末吉 紀子</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>新塘 久美子</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>永山 広子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>森 隆子</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>兒島 淳子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>米沢 文</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>林 しおり</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>石野 友希</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>永山 広子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>笠原 美紀</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>末吉 紀子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>新塘 久美子</td> </tr> </tbody> </table>	会長	藤野 順子	書記	遠藤 留美	監事	石野 友希	会計	笠原 美紀	書記	末吉 紀子	副会長	新塘 久美子	監事	永山 広子	会計	森 隆子	監事	兒島 淳子	会計	米沢 文	監事	林 しおり	会計	石野 友希	監事	永山 広子	会計	笠原 美紀	監事	末吉 紀子	会計	新塘 久美子
会長	藤野 順子																																	
書記	遠藤 留美																																	
監事	石野 友希																																	
会計	笠原 美紀																																	
書記	末吉 紀子																																	
副会長	新塘 久美子																																	
監事	永山 広子																																	
会計	森 隆子																																	
監事	兒島 淳子																																	
会計	米沢 文																																	
監事	林 しおり																																	
会計	石野 友希																																	
監事	永山 広子																																	
会計	笠原 美紀																																	
監事	末吉 紀子																																	
会計	新塘 久美子																																	



<p>3 予算（別紙参照）</p>	<p>2 その他の運営に関する会議</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 退任役員 (2) ホームページの作成及び管理 (3) 会員個人情報保護方針の検討 	<p>3 役員改選</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>新役員</th> <th>会長 徳永 龍子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書記</td> <td>末吉 紀子</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>新塘 久美子</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>石野 友希</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>笠原 留美</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>永山 広子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>森 隆子</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>兒島 淳子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>米沢 文</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>林 しおり</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>石野 友希</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>永山 広子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>笠原 美紀</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>末吉 紀子</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>新塘 久美子</td> </tr> </tbody> </table>	新役員	会長 徳永 龍子	書記	末吉 紀子	副会長	新塘 久美子	監事	石野 友希	会計	笠原 留美	監事	永山 広子	会計	森 隆子	監事	兒島 淳子	会計	米沢 文	監事	林 しおり	会計	石野 友希	監事	永山 広子	会計	笠原 美紀	監事	末吉 紀子	会計	新塘 久美子
新役員	会長 徳永 龍子																															
書記	末吉 紀子																															
副会長	新塘 久美子																															
監事	石野 友希																															
会計	笠原 留美																															
監事	永山 広子																															
会計	森 隆子																															
監事	兒島 淳子																															
会計	米沢 文																															
監事	林 しおり																															
会計	石野 友希																															
監事	永山 広子																															
会計	笠原 美紀																															
監事	末吉 紀子																															
会計	新塘 久美子																															

長い間お疲れ様でした。

別表
【取 入】

平成27・28年度 決 算 報 告

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
会 費	1,200,000	1,498,000	298,000	入会金、会費(500名)
雑 収 入	15,000	10,048	△4,952	寄付(山元郁子様)、利息
繰 越 金	2,634,689	2,634,689	0	
計	3,849,689	4,142,737	293,048	

【支 出】

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
会 議 費	1,000,000	698,962	301,038	総会、役員会、連絡員会
研 修 費	100,000	26,011	73,989	研修会講師
印 刷 費	300,000	247,968	52,032	会報「しおさい」宛名シール等
事 務 費	100,000	81,233	18,767	事務用品、会務手当
通 信 費	400,000	263,505	136,495	「しおさい」発送料
振 込 手 数 料	50,000	46,982	3,018	
雑 費	100,000	64,640	35,360	
予 備 費	1,799,689	0	1,799,689	
計	3,849,689	1,429,301	2,420,388	

収 入 合 計 4,142,737円

支 出 合 計 1,429,301円

差 引 残 高 2,713,436円

平成 29年 8月 5日提出

平成 29・30年度 予 算

【取 入】

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	備 考
会 費	1,300,000	1,200,000	100,000	入会金、会費
雑 収 入	15,000	15,000	0	寄付、利息
繰 越 金	2,713,436	2,634,689	78,747	
計	4,028,436	3,849,689	178,747	

【支 出】

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	備 考
会 議 費	1,000,000	1,000,000	0	総会、役員会、連絡員会
研 修 費	100,000	100,000	0	研修会
印 刷 費	300,000	300,000	0	会報「しおさい」宛名シール等
事 務 費	100,000	100,000	0	事務用品、会務手当
通 信 費	800,000	400,000	400,000	「しおさい」発送料、ホームページ初期設定料
振 込 手 数 料	50,000	50,000	0	
雑 費	100,000	100,000	0	大学との連携、大学の行事出席
予 備 費	1,578,436	1,799,689	△221,253	
計	4,028,436	3,849,689	178,747	

平成 29年 8月 5日提出

(△減)

しおさい会

会長 藤野瑠美



S55 余興じゃんけん大会



余興 白雪姫



松下先生

懇親会の一場面

しおさい会研修会

テーマ「鹿児島の魅力再発見～俳句から見える、かごしま～」

講師 上迫 和海 氏

【プロフィール】
1962年 鹿児島市生まれ 早稲田大学法学部卒業
1982年より俳句雑誌「ホトトギス」及び「郁子（むべ）」に投句

2000年 全国最年少のホトトギス同人となる
2011年 平成二十三年度鹿児島県芸術文化奨励賞受賞
俳人としては初

代表作 句集『四十九』（南方新社）、
『かごしま俳句紀行』（南日本新聞社）

好日南窓一西村先生との日々』
(南日本新聞開発センター)

総会に続いて研修会では、
「俳句から見える、かごしま」
と題して、上迫和海先生にご
講演いただきました。先生は
二〇一三年から一年程南日本
新聞にコラムを寄せていらっ
しゃいました。現在は「南日
本新聞開発センター文化教室」
等で俳句講座を担当されてい
ます。俳句講座を担当されてい
ます。

講演内容をご紹介します。

【幸運と幸福は違います。『幸
運』とは外から恵まれるよう
くるものです。幸運の反対
は『不運』です。不運も外か
らどうしようもないこととし
てやつてきます。松下幸之助氏は、
松下幸之助氏は、松下电工
の入社試験で必ず聴く質問が

【幸運と幸福は違います。『幸
運』とは外から恵まれるよう
くるものです。幸運の反対
は『不運』です。不運も外か
らどうしようもないこととし
てやつてきます。松下幸之助氏は、
松下幸之助氏は、松下电工
の入社試験で必ず聴く質問が

あつて「君は、運がいい人間か、
運が悪い人間か」と。必ず「運
がいい人間だ」の方を採用し
思えるのは、周囲に対する感
謝なり、そういうものの見方
をしています。要は、運がいいと
いたらしいです。

私の哲学ですが、運、不運
は基本どんな人でも同じです。
その中で自分は幸運だ、と思っ
ている人は周りに対しても同じ
感じで、不運だと思っている
人は現実に対する捉え方に對
してどこか不満があります。

幸運の代表的なものは、「宝
くじに当たる」ことです。そこには
「不運」の最たるものには「病
気」という場面だと思います。
宝くじが当たった人の自己

破産率はとても高いです。ど
んどんお金を使って無くなり、
それでも浪費が止まらず、結
果的に家族がバラバラに・
よくありがちな話と思われ
ますが、社会学的研究データ
でも裏づけられています。

反対に「病気」について、
現場の話では「がん」をきつ
かげに家族が仲良くなつてい
くという過程をよく見ること
があるそうです。病気とい
う不運はあつても、今までお互
い冷たく生きていた家族が再
生していくという物語は、幸
福について考えさせられます。

人間は幸運を幸福にする力
もあるし、不運を幸福にする力
もある。一方、幸運だったた
めに、わざわざ不幸にな
なつていく人もいるし、不運
がきた時にも、どつぶり不幸
になる人もいます。そこには
俳句を始めると、ほぼ九〇%

の人が「私は今までこんなに
見る」という行為は俳句を
作るきっかけで起こりますが、
私たちが好きだから見るとい
うことがあります。逆に、見
ているから詩になるというこ
ともあります。テレビで繰り

返しを見せられると、自動的に
好きになります。これは心理学の
実験でも証明されています。
赤ちゃんが何千回何万回と
お母さんを見ると、自然と好きになります。
しの中で、自然と好きになる
という心が沸いてくる仕組み
になっています。そういうこと
を自然に置き換えてみても理
屈は同じです。見るという行
為を繰り返していくうちにだ
んだん好きになることがあります。

で生きていますが、実は私た
ちはほとんど見ずに通り過ぎ
てしまっています。桜の花を
見ては怪訝そうに私を見ながら通
り過ぎてしまう。その気持ち
も分かりますが、こちらとし
ては逆に、どうして立ち止ま
つて見ないの?と思いません。そ
の方たちは桜が目の端にあつ
ても、桜の花がどんな風に咲
いているかと感じないまま通
ります。その中で自分が豊かさ
を感じるのは、そういう方々の方が多い。
でもその豊かさを享受でき
るかはその人次第。要は身近
にある豊かさをどのくらい享
受しているかに尽きます。俳
句はあくまでも一手段に過ぎ
ません。豊かさの中には、幸
運に恵まれていても、それを享
受できるかは本人次第の事
なのです。それを私は俳句と
いうごく狭い世界で感じなが
ら日々を生けています。

【助言いただいた句（一部）
★整理する机の角に星の砂
←（季題に変えて）
夏探し机の角に星の砂】

【「豊かさとともに」鹿児島
は大変豊かな所です。吹上浜
の砂浜、錦江湾、霧島の新緑
など私たちは豊かな空間の中
に生けています。

【「豊かさとともに」鹿児島
は大変豊かな所です。吹上浜
の砂浜、錦江湾、霧島の新緑
など私たちは豊かな空間の中
に生けています。

【「豊かさとともに」鹿児島
は大変豊かな所です。吹上浜
の砂浜、錦江湾、霧島の新緑
など私たちは豊かな空間の中
に生けています。



（文責：仮屋崎・末吉）

俳句を紹介いただきました。
さらに、しおさい会会員よ
り寄せられた俳句にもご助言
いただき、俳句を作る際に大
事な「感覚」を磨いていくこ
との大きさをご教示いただきました。

「総会に参加して」



高岡ゆかり (S54年卒)

昭和五十四年に保健婦学校を卒業してあつという間に三十九年が経つてしまいました。私は、一度臨床の現場に出て三年後に保健婦学校に進学しました。その間結婚もしておりましたのでちょっと変わった学生だつたかもしれません。しかし、一度社会に出て再び学ぶチャンスを頂けたことは、その後の私の生き方を大きく変えたと思います。

帰りは毎晩最終バスだつたことは、その他の生き方と大きく変えたと思いません。しかし、週末のことを覚えていました。その頃のことですでの、開いているスーパーもなく帰つて空っぽの冷蔵庫を開いてため息をついていました。しかし、週末は多くのクラスメートが社会見学と称して自宅に遊びに来てくれ、「一緒に食事をしたり、楽しい時間を過ごしました。卒業後主人の仕事の関係で短期間の出張や転勤でいろいろい



ろな職場を経験しました。沖縄から東京まで実際に職を転々とし、同窓生が着実にキャリアを積んでいるのを見て、うらやましく思つたり、焦つたりもありました。今となつてみれば、その一つ一つが決して無駄ではなく全て貴重な経験だつたと実感しています。卒業して十年くらい経ちようやく鹿児島に落ち着き、病院の中で、健康診断の部署を立ち上げたり、事務を経験したり、また食に関する

霧島のペンションを貸し切りにしてもらい、十月に十名程度の人数で楽しい二日間をすごしました。三十九年分の話は尽きる事なく、昔に帰り多いで盛り上りました。それぞれに有意義な毎日を送つていて刺激を沢山貰い再会を約束して帰路につきました。その後もこれがきっかけとなり、連絡を取り合つています。

同窓会では、頗もしい後輩の方々のお話を伺つたり、多くの方のお顔を拝見しても嬉しくうございました。

仕事や出来事との貴重な経験になりました。斯ういう話になりました。

鹿児島での同窓会では、中々会うことが難しいのです。ストレートに進学したクラスメートも六十歳をすぎ退職している方も多いのですが、鹿児島での同窓会では、中々会うことが難しいのです。斯ういう話になり、実に三十九年ぶりにクラスの同窓会をしようという話になりました。

霧島のペンションを貸し切りにしてもらい、十月に十名程度の人数で楽しい二日間をすごしました。三十九年分の話は尽きる事なく、昔に帰り多いで盛り上りました。それぞれに有意義な毎日を送つていて刺激を沢山貰い再会を約束して帰路につきました。その後もこれがきっかけとなり、連絡を取り合つています。

同窓会では、頗もしい後輩の方々のお話を伺つたり、多くの方のお顔を拝見しても嬉しくうございました。

仕事や出来事との貴重な経験になりました。斯ういう話になりました。

「感謝」



赤瀬 和代 (S55年卒)

初めてのしおさい会同窓会への参加は、太平洋上に居座り続けた台風のにわかに変化した動きに気を揉む一日となりました。

受付を終え、会場に一歩足を踏み入れると、かくしやくとした先生方や先輩方のお姿が目に飛び込み、懐かしさと一緒に過ぎし日の未熟な自分が目の当たりにするような少しの照れを感じました。

鹿児島大学医学部附属保健婦学校を卒業して三十七年余。

初任地は離島でしたが、仕事をする不安よりも、初めての一人旅・一人暮らしという

『保健師という職業を選んでわくわく感が勝っていた私は、当時の保健婦長にはかな良かつた! 楽しかった! すべての出会つた人々、出来事、

今はつきり言えるのはこの言葉です。

『保健師という職業を選んでわくわく感が勝っていた私は、当時の保健婦長にはかな良かつた! 楽しかった! すべての出会つた人々、出来事、事象に感謝!!』

えられて、一人の保健婦に育てていただきました。本当に有り難い環境で働くことができたと、先輩方への感謝の気持ちでいっぱいです。

仕事や出来事との貴重な出会いも多くありました。自分から求めていく出会いもありますが、降つて湧いた突然の出会いもありました。その時々の出会いを、どう越えるか、活用していくかが楽しい人生になるかどうかの岐路だつたように思います。もちろんその時々に心強い保健師(婦)の仲間がいました。

今まで出会つた多くの同僚や上司からの助言・支えがあつたからこそ、今まで仕事を続けてこられたのだと実感します。

今はつきり言えるのはこの言葉です。

『保健師という職業を選んでわくわく感が勝っていた私は、当時の保健婦長にはかな良かつた! 楽しかった! すべての出会つた人々、出来事、



「しおさい会同窓会・総会に参加して」

看護学専攻四年 原口 明子

今回初めてしおさい会同窓会・総会に参加させていただけました。昨年、しおさい会セミナーに参加し、保健師活動について学ばせていただけたこともきっかけとなり、保健師という専門職に関心を持ちました。また、人としても、保健師としてもかつていい生き方をしている多くの先輩方と出会いました。そこで、今回、同窓会・総会で先輩方とお話しできることをとても楽しみにしていました。

私は、六月に保健師実習を行い、保健師とは「対象の持っている素敵な力を引き出しながら、健康な地域を目指す人」と考えました。今回は、食事をしながら、保健師の先輩方が、日々どのような業務を行っているか、何を大切にし

て保健師活動をしているかについて教えていただきました。それでお話の中で、私が実習で学んだことについての理解が深まつたことももちろんですが、新たな保健師の魅力も発見しました。また、三年生も多数参加していたことで、学生間で保健師への夢を語り合う機会にもなり、とてもいい時間を過ごしました。

また、余興では昭和五十二年卒の方々と学部生と一緒に「恋するフォークチュンクッキー」を歌いました。この

と同時に、人とのつながりを大切にする保健師らしさを感じました。今回も、先輩方や学生との素敵な出会い・学びがありました。学生として参加させていただいたことに感謝します。この経験を活かし、私自身も「もっと住民の方の笑顔が増えるために、私はどうしよう?」と考え続けられる保健師になれるよう、精進していきたいと思います。



さつま町役場
保健福祉課 健康増進係
高田 恵里(H29年卒)



私は、平成二十九年四月にさつま町の保健師として就職しました。私がさつま町へ就職したのは、大学四年時の保健師実習で縁があつてお世話をになり、保健師の皆さんと町民の方々の温かさに触れ、さつま町をもつと知りたいと思ったのがきっかけです。

現在、保健福祉課健康増進係で主に介護予防事業である「ころばん体操」に携わっています。ころばん体操は平成二十七年度に始まり、現在、三十五の団体で週に一回住民主体で実施しています。体操人口は町内八百人を超え、長いところは二年近く続いている。これからも高齢

者数が増えていくさつま町で健康寿命を延ばすためには、地域で助け合わなければなりません。行政から強いるのでなく、開始前に住民説明会を行い、納得して「やりたい」と言われたお世話役さんに参加者を集めていただきます。町民の持つている力を引き出す仕組みづくりを行うために、お世話役さんの力は重要です。実際に公民館に行くと、自分達で作った漬物や野菜料理等を持ち寄ったお茶会、クイズで頭の体操、地区の問題を話し合う場と、体操以外にも寄り合いの場となっています。町民の方々は、地域のことや人生の経験をお話しされます。参加者の感想では、「週に一回皆に会えるのが楽しみ」「気持ちが明るく、笑顔がえた」と前向きな意見をいただきます。筋力の維持はもちろん、顔を見て会話をし、笑いあうことでお互いを覚えて地域づくりに繋がることを学びました。

まだまだ未熟ですが、町民の方々や先輩方に学びながら、これから地域づくりに貢献できるように一人一人に寄り添い、その人らしさを尊重できるような保健師になれるよう努力していきたいです。

近況報告

津田 尊子(S61年卒)



し
お
さ
い
平成二十八年四月十四日、十六日、熊本地震発生。その中で二度とも震度七を記録しました。益城町に私は住んでいました。突然の大きな揺れに身動きできず、その場のテーブルの下に座り込むのがやつとでした。その晩は車中泊で一晩中救急車や消防車のサイレン、ヘリコプターの音が響き、余震の恐怖もあり一睡もできませんでした。二度目は十六日になつて、またも激しい揺れになんとか外に出ました。夫の返事はなく、こ音だけで夫の返事はなく、この時ばかりは生きた心地がしませんでした。暫くして無事出て来た時は本当に命があつて良かったと安堵しました。二度にわたる大きな地震で多くの家屋は倒壊し、映画のも停電断水が続く中、水汲み

のような惨状でこれが現実なののかと目を疑うほどでした。この地震で五十人もの尊い命が失われ、六月には短時間豪雨に見舞われるのかと悲しい気持ちになりました。しかし、不眠不休で住民のために働く役場職員、避難所で毎日炊き出しをしてくれる自衛隊員、給水してくれる久留米市職員の方々には頭が下がる思いでした。私も頑張ろうと勇気づけられました。

私の家族は五人で二週間、避難所の小学校の廊下に夜間だけ泊まりに行きました。先生方も被災者のために沢山の役割を果たしてくれていました。そして全国の市町村から駆け付けました。先駆者も被災者やみなし仮設で暮らしている住民多くおられます。損壊家屋等の解体もまだ完了しておらず、復旧、復興にはどれ程の時間がかかるのかわかりませんが、少しずつでも進むことを祈りながら、自分自身も看護師として入所者に寄り添い、ニーズに応じた看護ができるよう努力していきたいと思いつます。支援物資の箱に書かれた一文が心に染みました。「何事もなく行き着いた未来より、何かを乗り越えてたどり着いた未来の方が良いに決まつて」

皆様の未来がより良いものになるようお祈り申し上げます。熊本へのご支援、本当にありがとうございました。

やトイレの汚物処理、掃除等、大変お世話になりました。職員だけでは入所者の支援、介護はできなかつたと思います。本当に、マンパワーはすごいなあと痛感しました。支援物資も全国各地から届き、日本人の助け合いの精神、優しさは、感慨深いものでした。

幸い、自宅は耐震基準が定められた後に建てた家だつたので一部損壊で今も自宅に住めており、日常を取り戻していますが、仮設住宅やみなし仮設で暮らしている住民多くおられます。損壊家屋等の解体もまだ完了しておらず、復旧、復興にはどれ程の時間がかかるのかわかりませんが、少しずつでも進むことを祈りながら、自分自身も看護師として入所者に寄り添い、ニーズに応じた看護ができるよう努力していきたいと思いつます。支援物資の箱に書かれた一文が心に染みました。「何事もなく行き着いた未来より、何かを乗り越えてたどり着いた未来の方が良いに決まつて」

始良保健所は、平成十七年四月に加治木保健所と隼人保健所が合併し、霧島市隼人町に新設されました。管轄市町村は霧島市、伊佐市、始良市、湧水町です。

始良保健所は、平成二十九年十一月一日現在、人口二三七、〇〇四人、世帯〇三、七五九、平成二十八年度の年間出生数二、〇二五人、高齢化率二八・三%となつています。

始良保健所の保健師は、健康企画課八名、地域保健福祉課に三名、計十一名が配置されています。健康企画課では地域医療構想や在宅医療、結核対策、難病対策、母子保健の推進等を行ない、地域保健福祉課では精神保健福祉、介護施設等への指導を行っています。

精神保健対策を担う県立始良病院や、小児を含んだ難病対策

職場紹介

小田 房子 (H3年卒)



～揚松所長を囲んで～

や在宅医療の中心となる南九州病院など、県の拠点となる医療機関もあり、医療や福祉、保健との連携が必要となっています。また、鹿児島県の玄関口である空港を有しているため、新型インフルエンザ等の感染症対策や新燃岳の噴火に対する災害対策など、健康危機管理も重要な業務となっていました。

所内にはしおさい会の会員も多く、日々の業務はもちろん、子育てに関することやプライベートなことまで先輩保健師にいろいろ相談しています。

年度末には、業務検討会を実施したり、若手保健師は公衆衛生学会への発表を積極的に行ったり、課や係を超えて業務の情報交換、相談、助言を受けやすい職場です。

今後も地域の健康課題を分析し、広域的に市町への支援を行い、関係機関と一緒に健康づくり、まちづくりに取り組んでいこうと思っています。

前会長のあいさつ



藤野 瑞美 (S46年卒)

この度、第十九回総会で会長任期を終えました。任期中は皆様のご協力ご支援を頂きました。役員会は年代幅が広く、それゆえに知恵やアイデア溢れる豊かな会話や意見に触れ合うことができ、思いのほか楽しいものでした。

毎年、総会が終わると、役員会では総会報告を会報に掲載する準備と、総会のない年度に実施する、しおさい会セミナーの準備を進めます。

しおさい会セミナーは学生に保健師を身近に感じて貰う取り組みです。いろんな場で保健師をして働く現役と働いてきたOBが学生と交流を図り、互いに学び、気付き、元気を貢付けています。間近にホームページの作成と活用が始まりそうです。今

度はいろんな形で学生や会員間の交流が進んで行くのではなくかと、期待するところです。

会報送付や総会案内を機会に、クラス連絡員や個人から、「近辺の卒業生同士で毎年同窓会をやっている」「これまで毎回出席出来たけど高齢になり残念ですが欠席します」「地域のボランティア活動中」「もう少し仕事や子育てが一段落したら出席したい」等の情報があります。

これらにそれぞれ返事を書くことは出来ませんでしたが、このような同窓会への懐かしさと愛着の籠つたお便りには、更に良い会にしていきたいと気持ちが引き締まりました。

同窓会はこのような会員間の日常的な交流があつて、互いの絆が強くなるのでしよう。これからも、仕事の中での社会の中で「しおさい会」の絆が深まるといいですね。保健学科の卒業生も多数入会しています。若い方とベテランの方の感覚と知識が上手く融合して、更に、素敵になりました。

最後になりますが、次回総会もまた元気な皆様とお会いできることを祈念して、退任のあいさつといたします。

新入会員紹介

平成29年 鹿児島大学医学部保健学科
看護学専攻卒業生 しおさい会入会者



第19回総会には多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。台風接近のため急きよ参加できなくなつた方も数名いらっしゃいましたのが残念でした。ホームページ立ち上げも前に進んでおります。新役員も加わり、ますますパワーアップした活動にご期待下さい。

編集後記

(文責／末吉)

第8回しおさい会セミナーご案内

「地域看護の醍醐味」

講師 戸田 実希さん (H25年卒)
西 ひろみさん (H25年卒)

日時 平成30年5月19日(土) 10時~12時

場所 鹿児島大学医学部保健学科地域・老年看護学実習室

多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

参加ご希望の方は5月1日までに表紙の事務局までご連絡下さい。

【お知らせ】

◎現在ホームページ作成中です。サイト名は「しおさい」を予定しています。

【アドレス】<http://shiosaihakai.org/> 【公開予定日】平成30年3月下旬(予定)

(公開日については変更の可能性がありますのでご了承ください)

◎地方等でミニ同窓会を開催されているところは情報を寄せください。

◎平成30年4月より事務局が「地域包括看護学講座」の名称に変わります。